



『マンガで解決親の介護とお金が不安です』

（上大岡 トメ／著）

主婦の友社 369.2 /カ /

<https://ili>

親はずっと元気なものだと思っていました。しかし、それは、自分も日々老いているという現実や、親の介護という未来を考えたくなくて気づかないふりをしていただけかもしれません。この本では、私と同じように「介護」を全く知らない（逃げていた？）著者が、周囲のアドバイスを受けながら「介護」について理解していく過程が、マンガと実例で分かりやすく書かれています。「介護」という言葉には優しさと不安が共存している気がしますが、本書に書かれている、『介護に正解なし。』『親の話を意識的に聞くこと。－それはもう立派な介護。』の言葉が不安を軽くしてくれます。

『学名の秘密』

（スティーヴン B.ハード／著）

原書房 460.3 /ハ /

<https://ili>

モノにはすべて「名前」がある。ということとは「名づけ」親がいるということである。殊に科学者は、発見したものには、まず命名し、記載する。しかしそこにおいて、私たちはハタと気づく。「学名」の、やたらと長くて、意味のない、言葉の羅列に。

しかし、この本の著者は言うであろう。「意味のないものなど、この世にはないのだ」と。「ダーウィンのフジツボ」とは何か、「マルフォイのハチ」とは何なのか、この本を読めばワカル。

『マスクをしても「通る声」をつくる!』

（庄野 俊哉／著）

旬報社 498.3 /シ /

<https://ili>

突如始まったマスク生活。このコロナ禍では必要不可欠なものになってしまいました。マスクをしていても会話は控えるようになって「そういえば声が出づらくなった」と感じた方はいませんか？声を出す…今まで当たり前のようにやっていたことですが、喉や顔の筋力、ほうれい線の予防、脳の活性化などに繋がっていたんです！

音読CDもついているので、ひとりおうち時間に発声してマスクなし生活に戻る未来のために今からトライしたいですね♪

『オートミールヘルシー&ダイエットレシピ』

（牛尾 理恵／料理 松生 恒夫／監修）

主婦の友社 596.3 /ウ /

<https://ili>

最近話題のオートミール。テレビ等でも紹介されているので気になっている人もいるかもしれません。オートミールとは『オーツ麦を脱穀して調理しやすく加工したシリアル食品』だそうです。私たち日本人にはあまり馴染みのな食べ物ですね。そのため食べ方が分からないと困っている人は多いのではないのでしょうか。本書ではオートミールを使った朝ごはん・主食・おかず・おやつ の作り方を紹介しています。使い方次第で、お米の代わりになったり、おやつも作れたり万能なオートミール。初心者におすすめのレシピ等も載っているので、気になっている方はこの機会にぜひ挑戦してみたいでしょうか？

『お菓子の箱だけで作るすごい空箱工作』

(はるきる／著)

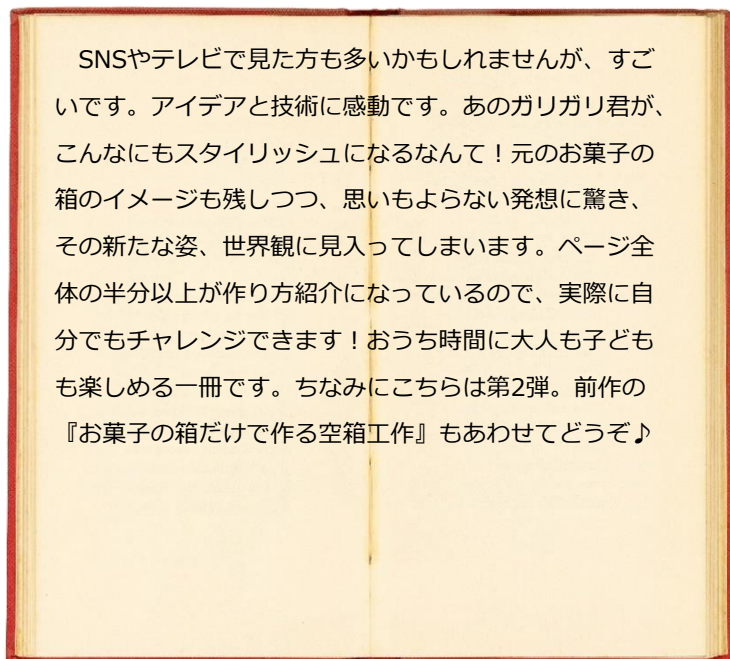
ワニブックス 754.9 /ハ /

『向田邦子 総特集 (増補新版)』

河出書房新社

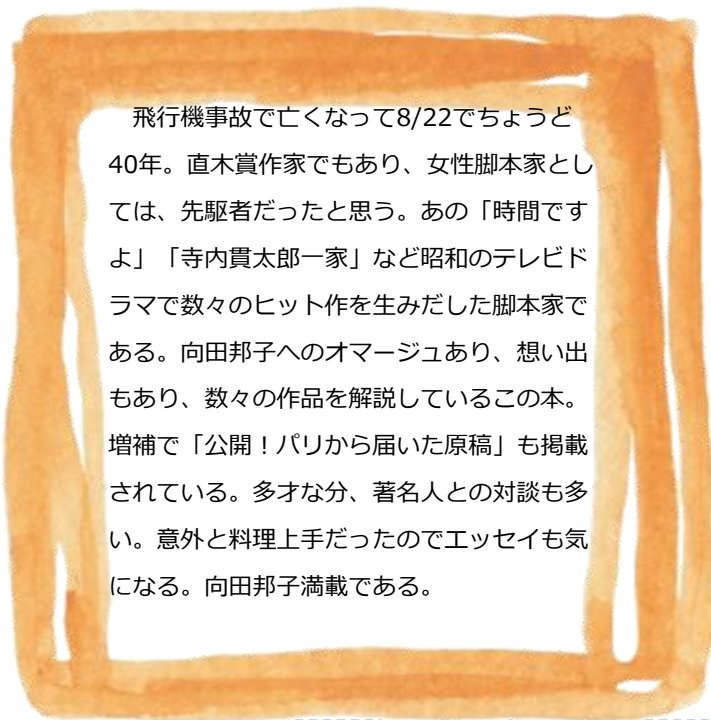
910.2 /ム /

<https://ili>



SNSやテレビで見た方も多いかもかもしれませんが、すごいです。アイデアと技術に感動です。あのガリガリ君が、こんなにもスタイリッシュになるなんて！元のお菓子の箱のイメージも残しつつ、思いもよらない発想に驚き、その新たな姿、世界観に見入ってしまいます。ページ全体の半分以上が作り方紹介になっているので、実際に自分でもチャレンジできます！おうち時間に大人も子どもも楽しめる一冊です。ちなみにこちらは第2弾。前作の『お菓子の箱だけで作る空箱工作』もあわせてどうぞ♪

<https://ili>



飛行機事故で亡くなって8/22でちょうど40年。直木賞作家でもあり、女性脚本家としては、先駆者だったと思う。あの「時間ですよ」「寺内貫太郎一家」など昭和のテレビドラマで数々のヒット作を生み出した脚本家である。向田邦子へのオマージュあり、想い出もあり、数々の作品を解説しているこの本。増補で「公開！パリから届いた原稿」も掲載されている。多才な分、著名人との対談も多い。意外と料理上手だったのでエッセイも気になる。向田邦子満載である。

『オイモはときどきいなくなる』

(田中 哲弥／著)

福音館書店 913 /タ /

物語

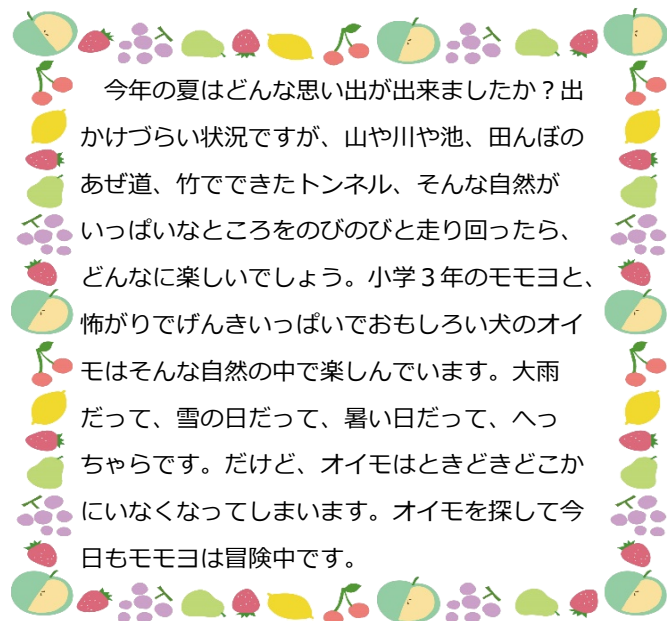
『ピアトリス・ポターの物語』

(リンゼイ H.メトカーフ／文)

西村書店 E /ウ /

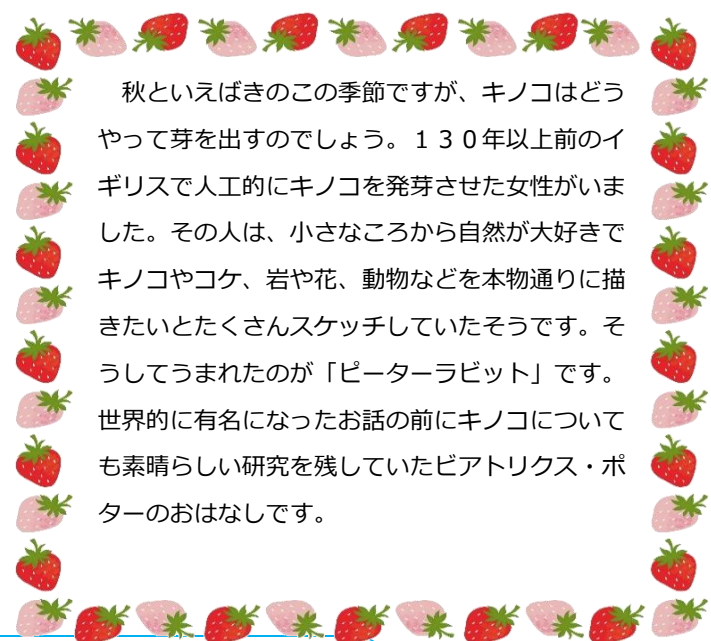
えほん

<https://ili>



今年の夏はどんな思い出が出来ましたか？出かけづらい状況ですが、山や川や池、田んぼのあぜ道、竹でできたトンネル、そんな自然がいっぱいなところをのびのびと走り回ったら、どんなに楽しいでしょう。小学3年のモモヨと、怖がりでげんきいっぱいでおもしろい犬のオイモはそんな自然の中で楽しんでいます。大雨だって、雪の日だって、暑い日だって、へっちゃらです。だけど、オイモはときどきどこかにいなくなってしまう。オイモを探して今日もモモヨは冒険中です。

<https://ili>



秋といえばきのこの季節ですが、キノコはどうやって芽を出すのでしょうか。130年以上前のイギリスで人工的にキノコを発芽させた女性がいました。その人は、小さなころから自然が大好きでキノコやコケ、岩や花、動物などを本物通りに描きたいとたくさんスケッチしていたそうです。そうして生まれたのが「ピーターラビット」です。世界的に有名になったお話の前にキノコについても素晴らしい研究を残していたピアトリス・ポターのおはなしです。

問い合わせ先

荻田町立図書館

☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30 (木・金は19：00まで。本館のみ)

ホームページから蔵書検索もできます



(2021.9.5発行)